

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200309
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム 陽だまり日輪荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬二丁目29番37号 (電話) 0995-55-0700
自己評価作成日	平成27年11月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO 法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな住宅街に母体医療機関、同法人のグループホーム・デイサービスセンターが近接、同建物内1階は小規模多機能ホームもあり、緊急時の対応など相互に連携・協力して行う体制が整っています。
食事提供では、昼食・夕食(給食作成専用業者)の提供で朝食のみ職員が作っており、その為対応にゆとりが持て、入居者様とのコミュニケーション・活動提供に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は近くには同系列のデイサービスセンターや小規模多機能ホーム、母体医療機関等が併設され、災害時や研修会・会議など、相互協力関係が構築されている。
- ・地域行事に積極的に参加し、法人全体での「地域還元感謝祭」にも、施設を開放し、多くの地域住民の参加がある。さらに霧島市認定の「まちかど相談所」を設置して認知症の相談を受けたりして、「地域のひろば」を通して地域との良好な関係が築かれている。
- ・職員は「ほっとしていただける。」という理念に沿って、利用者個々人の習慣や楽しみを把握したうえで、新聞購読や陶芸・書道など、その人らしい生活ができるように関わっている。
- ・排泄の自立を支援し、おむつを外すことに取り組み、改善がみられた例では家族の喜びも大きい。
- ・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮するとともに、資格取得に向けた支援を行っている。職員も自らのグレードアップを目指している。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所共通の理念「ほっ」としていただけるように玄関・事務所に掲示し名札に携帯して思いやりの気持ちを持ったケアが出来るように努めています。	法人共通の理念である。運営方針と共に玄関や事業所内、パンフレットに掲示し、スタッフのネームにも記載している。日々振り返り、会議等で確認し、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩、地域のひろばへの参加、地域の行事への参加を通して顔なじみが出来て交流が図れています。	地域の夏祭りには準備から関わり、地域の各種行事に積極的に参加する一方、事業所の行事にも家族や地域住民の参加がある。幼稚園児との交流、中・高校生の職場実習、音楽療法のボランティア等の受け入れなども行い、日頃から地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の中学生の職場体験、高校生のサマーボランティア等を継続して実施。地域のひろばでのサポータ養成講座の実施。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議題や地域での取り組みについて御意見を頂き、推進会議議事録の回覧、業務改善等で話し合いサービス向上に努めています。	会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告を行い、意見交換をしている。会議における助言で自治会の回覧板で事業所の広報をしたり、地域の高齢化対策について検討するなど支援に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	推進会議への参加、ライフサポート・拠点活動を通して連携が図れていますが、今後も関係の構築に努めます。	市担当者とは、相談や情報を交換してアドバイスを貰っている。街角相談室やライフサポートワーカーとして地域の高齢者福祉の拠点活動等での連携や、運営推進会議を通して協力関係ができています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所全体の身体拘束廃止委員会2ヶ月に1回実施。各事業所での資料配布を通して身体拘束廃止マニュアルの周知・身体拘束を行わなければならない場合等に関する指針を周知したうえで拘束をしないケアに努めています。	法人の身体拘束廃止委員会で「身体拘束廃止マニュアル」を基に定期的に研修を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。玄関は昼間は施錠せずに、外出傾向の利用者には見守りや同行など職員間の連携で安全な生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内委員会、事業所全体研修を通して勉強して、不適切ケアの無いように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内研修や資料配布を行い学ぶ機会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に丁寧な説明、疑問点についても納得して頂き同意の上で契約をさせて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月の活動報告・アンケートの実施、何時でも要望を聞ける関係性と、ご意見箱の設置により何時でも反映できるように努めています。	気軽に話し合える雰囲気作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で意見を聞き、家族からは面会や電話の機会に、意見を出してもらう工夫をしている。出された要望や情報により、貯筋体操や歩行訓練を行うなど日々のケアに反映させている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の定例会、委員会の出席、業務改善、カンファレンスを通してお互いの意見交換・検討し業務に反映している。	代表者や管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、毎月の定例会や業務改善会議、カンファレンス等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員のスキルアップ目標を把握して研修やマイスター認定制度の参加によりスキルアップに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修や、施設外の研修参加を通して質の高いケアに繋がるように努めています。また伝達研修を通して全スタッフが共有できるように努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連合会、GH協議会の加入の継続とライフサポートワーカーを通しての研修を情報交換に活用している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のご本人様・ご家族様との面談を通しての傾聴と入所後についてもコミュニケーションを通して信頼関係が築ける様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来訪時や、電話を通して細目に連絡を取り合い何時でも話が出来る環境を作り信頼関係が築ける様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の段階での傾聴を通してご本人様・ご家族様のニーズを見極め随時 変わるニーズに合ったケアが出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれのご本人様の「〇〇がしたい」の実現のためにそれぞれの出来る範囲で、職員を交えて生活活動を通して関係を築ける様に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員が、常に入居者様を交えてご家族様と交流を図りそれぞれの思いを大切に良い関係が築ける様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様・ご家族様の話を傾聴して、馴染みの地域の方等と関係が途切れないように季節の行事の時など帰宅出来る様にご家族の協力を頂き実現できるように努めています。	これまでの生活歴や習慣を把握し、地域行事に参加したり、家族や友人知人の訪問を奨励し、関係を継続できるよう働きかけを行っている。手紙や電話の取次ぎなどを行ったり、家族の協力で外出や外食・一時帰宅・理美容院の利用・墓参などを支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事中や活動時に交流を図られ会話を楽しんでいらっしゃいます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご家族様の訪問や電話での交流は継続しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活の中で、希望を尊重して出来るだけ意向に沿えるように努めています。	家族や友人知人からの情報を得て、日々の関わりの中で言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、申し送り等で情報を共有して利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前のアセスメントと入居後のコミュニケーションでご本人からの情報把握、ご家族様からの情報把握に努め馴染みの生活の継続に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調を考慮しながら一人一人がその方らしく生活できるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の「〇〇したい」の実現のためにご家族様、必要関係者に情報頂き現状に合った計画作成に努めます。	本人や家族の意向を確認し、主治医や関係者の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画「ライフサポートプラン」を作成している。毎月モニタリングを実施し、3ヶ月又は必要時に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活介護記録の活用と申し送り、申し送りノートを通して職員が把握、周知している事を介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズを常に把握できるように努めニーズに合わせて、関連事業所と連携を図りニーズに答えられるように取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のひろば事業への参加・行事の参加を通して交流を深めて頂いています。馴染みの方も増え気楽に訪問、声掛けをして頂ける様に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時のかかりつけ医の確認と連携の確認を行っています。緊急時についてもご家族様に了解を取り、他医療機関とも連携を図っています。	母体医療機関が主治医となっている利用者が多いが、本人や家族の希望を大切にしている。月2回の訪問診療や歯科往診もある。受診は看護師または家族が同行し、申し送りノートに記録している。緊急時の対応などは連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による健康チェックと状態の把握、毎日Drへの状態報告と指示により必要に応じて受診治療が出来るように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に入院時までの経過の提供、入院後の情報の共有に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	マニュアル・方針については、ご家族への説明で、理解を得ていますが体制が整っていない。	重度化や終末期に向けた方針の書類を入所時に説明し同意をもらっている。看取りの事例がある。段階的に家族に説明し、主治医・家族・職員で十分に話し合い対応している。今後マニュアルに沿って体制を整えていく計画である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月に一回の業務改善時に資料配布や、職員の応急手当研修の参加等により迅速に動ける様に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練の実施と事業所全体の防災委員会の活動や地域の防災委員会への参加により事業所の自助だ気でなく地域との連携を図れるように努めています。	年2回消防署立会いのもと、マニュアルをもとに昼夜想定避難訓練を実施している。年3回自主訓練も実施し、避難経路等やスプリンクラーをはじめ、その他の防災設備も設置している。地域主催の訓練にも参加するなど協力体制もできている。災害時は水や米・ご飯・カレー・氷砂糖が3日分ある。備品の卓上コンロや懐中電灯も備えている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの場面で尊厳やプライバシーに常に気を配り、言葉駆け対応をするように努めています。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。排泄・入浴・入室時にはプライバシーに配慮している。特にトイレ誘導や入浴などは羞恥心に気を付けている。定期的な勉強会で振り返り、職員の資質向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ライフサポートプランの内容に沿ってその方のしたいことや目標がご自分の言葉で表現したり決定出来る様努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の個性やペースを大切にしながら、ご本人の体調などにも配慮し希望にそった暮らしが出来る様努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせ、その人の好みなどにも配慮した服装や身だしなみを心掛けています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の出来る範囲でランチョンマットを並べて頂いたり、食後の片づけでも皿を重ねて頂くなど食事への意欲や楽しんで頂けるように心がけています。	利用者の嗜好調査を行い、食事形態、薬の影響も考えながら提供している。朝食のみ職員が作り、昼夕食は委託である。おせち・敬老会・花見・スイカ割り・もちつき・味噌作り等は家族も交えて楽しみなものになるよう工夫している。利用者の力量に応じて料理の下ごしらえや下膳も職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの方が必要な食事量や栄養バランス・水分量などを体調やその方の能力や食事形態に合わせた支援に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様一人ひとりの口腔状態に合わせた口腔ケアの方法や能力に応じて声掛けや支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表の活用などにより、利用者様一人ひとりの排泄パターンや能力に応じて声掛けや日中のオムツ不使用などの自立支援に向けた取り組みに努めています	排泄チェック表で習慣を把握し、自尊心に配慮しながら、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。排泄用品も本人に合わせて対応している。オムツを減らす取り組みで排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事内容や一人ひとりの排泄パターンなど把握し、便秘の予防や早めの対応に心掛けています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や安全面に十分配慮しながらご本人の希望に沿うよう、洗身や入浴の見守り・支援に努めています	入浴は基本的に週3回であるが湯は毎日沸かし、希望があれば毎日入浴も可能である。体調や気分に合わせてシャワー浴や足浴・清拭も行い、本人希望のシャンプーを使用したり同性介助や個々の気持ちを配慮して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の様子や体調を見ながら、昼寝や一人ひとりに応じた睡眠の支援に努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効能や副作用を理解し、薬の形状や服薬能力に応じて安全に服薬が出来るよう支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力や前向きな姿勢を尊重し、役割や日中の活動などの支援に努めています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候や体調など見ながら近所の散歩や季節ごとの外出、及び地域の行事への参加などの支援に努めています	日常的には、体調などを考慮して散歩や買い物・ドライブに出かけている。地域の夏祭りや運動会は地域の人や家族の協力に参加している。年間計画で花見などにも出かけている。家族の協力を得ながら外出や外食・正月帰宅・温泉・理美容院利用など、外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人でお金を所持されていらっしゃる方もおられますが、金銭管理については、預り金として管理させて頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族へ用事があったり、声が聞きたいとの要望がある時は職員が電話を継げられるよう援助し、手紙や年賀状も続けられるよう職員も一緒に取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が安心して暮らせるよう障害物や危険な物などは置かず気温や湿度・光など状況に応じて調整したり、季節に合った作品や花や植物を飾り居心地よく過ごせるよう心掛けています	共用空間は広くゆったりして明るい。換気や採光に配慮し清潔である。フロアには利用者と職員で作った季節感を大事にした飾りつけがある。ウッドデッキがあり、畳のコーナーやソファも多く置いてある。それぞれ好みのところでくつろいで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースで、交流を持たれ過ごされる事が多いですが、その中でもお気に入りの場所がお一人お一人あられる様で思い思いに過ごされていらっしゃると思います。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた物や寝具・家具などをそのまま利用して頂いたり、ご家族が持って来られたプレゼントや写真なども飾ることで居心地よく安心して過ごして頂けるよう心掛けています	居室は全室洋室で電動ベッドとロッカーが備え付けである。ゆったりと広くて明るい。寝具や家具・写真など、思い出の品々や馴染みのものを持ち込み、居心地良く暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレにすぐ行けるよう自席の配置を工夫したり、何がどこにあるかわかりやすいよう掲示し、少しでも自立支援につながるよう努めています		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない